

第5章
重点施策

私たちの生活様式や事業活動の変化に伴い大量に排出される二酸化炭素は、地球温暖化*の大きな要因となっており、その削減に向けて喫緊に取り組まなければならない課題となっています。

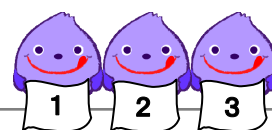
また、環境意識調査においても市の良いところとして高く評価されている、玉川上水や野火止用水を始めとする用水路、雑木林、農地及び市をほぼ一周する小平グリーンロード*などの小平らしさを特徴づける大切な緑を、守り、育て、次世代につないでいく必要があります。

このため、地球温暖化防止に向けた二酸化炭素排出量を削減するための取組と緑の保全等、水と緑のネットワーク*の形成を優先課題として取り組み、市は、6つの重点施策を中心として、課題ごとに10の取組を進めていきます。また、重点施策のほか、設定した数値目標の達成に向け進行管理を行います。

また、環境への取組は、市はもとより、市民、事業者など一人ひとりが暮らし方を見つめ、環境に配慮した行動を実践することが重要です。それぞれが役割を果たしながら、連携・協働して取り組み、着実な推進を図っていきます。

課題 1 二酸化炭素排出量の削減に向けて

重点施策



1

市民への太陽光発電システム機器設置費用の助成を充実します

現在、私たちが直面している電力供給にかかわるエネルギー問題を始め、地球温暖化防止に向けた二酸化炭素排出量の削減のためには、新エネルギー*の導入を積極的に進めることが有効です。市民などへの太陽光発電システム機器の設置費用の助成を継続して実施し、太陽光発電システムの導入を促進します。

2

自転車専用レーンの設置及び拡大について検討します

自動車に頼らず、徒歩や自転車を利用することは、二酸化炭素の排出量の削減に効果があります。自転車利用を促進するために、自転車専用レーンの設置及び拡大についての検討や自転車駐車場の整備をするなど、自転車の利用しやすい環境整備を行っていきます。

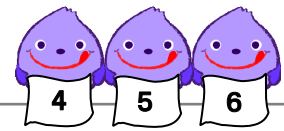
3

環境家計簿に気軽に参加できる仕組みを構築し、省エネを促進します

日常的に使用している電気やガスなどのエネルギー使用量を把握することで、節電などの省エネ行動を実践するきっかけとなる環境家計簿*に、誰もが気軽に参加できる仕組みを構築するなど、家庭や事業者における省エネルギーの取組を促進します。

課題 2 水と緑のネットワークづくりに向けて

重点施策



4

花いっぱい運動を推進し、市民参加による身近な緑の育成を推進します

駅前や沿道、公共施設など、まちなかに花植え活動を行う小平市花いっぱい運動の会や市民ボランティアによる花いっぱい運動を推進し、市民が担い手となった、どこからでも見える身近な緑の育成を推進します。

5

小平グリーンロードを南北に結ぶあかしあ通りのグリーンロード化を図ります

市をほぼ一周するみどりの骨格である小平グリーンロードの保全を進めるとともに、南北に結ぶ新たなみどりの骨格として、あかしあ通りのグリーンロード化を推進します。

6

市民参加による動植物の生態調査を実施します

樹林地などの緑地空間や用水路などの水辺空間などは、動植物の貴重な生息空間となっています。これらの動植物の生息空間を保全・創出していくため、身近な自然環境をよく知り、関心を深めていけるよう、市民参加による動植物の生態調査を実施し、自然環境への理解を深めます。



二酸化炭素排出量の削減に向けて

太陽光発電システムの導入を推進します

■ 市民などに、太陽光発電システム機器などの新エネルギー機器の設置を促進するため、引き続き設置費用の助成を実施します

重点施策

■ 二酸化炭素を排出しない新エネルギーの有効活用を図るため、公共施設への太陽光発電システム機器の設置を計画的に進めます

環境配慮型の生活を推進します

■ 自転車専用レーンの設置及び拡大の検討や自転車駐車場の整備など、自転車利用を促進します

重点施策

■ 庁用車における低公害車・低燃費車の導入促進を図り、環境に配慮した自動車利用を促進します

■ 輸送などに係るエネルギー消費の削減や二酸化炭素の排出量の削減にも有効な地産地消を推進するため、小平産の農産物の販売形態の拡大や学校給食への供給拡大を図ります

環境保全のために行動できる人を増やします

■ 電気やガスの使用量を把握することで、省エネに役立つ環境家計簿*に、誰もが気軽に参加できる仕組みを構築するなど、家庭や事業者における省エネルギーの取組を促進します

重点施策

■ 市民版環境配慮指針*を活用し、環境について考え、行動する機会を拡充します

■ 市報や市ホームページにおける環境に関する情報提供を充実させます

■ 学校だけでなくあらゆる世代に対する環境学習の充実を図ります

■ 市民や事業者に向けた環境講座等を開催します

数値目標 1

	現状(平成22年度)	目標	目標年度
二酸化炭素排出量	621,362 t-CO ₂ (平成20年度)	492,286 t-CO ₂ (平成17年度比25%削減)	平成32年度
庁用車の低公害車・低燃費車の導入率(特殊車両を除く)	56.3%	100%	平成33年度
環境家計簿の利用件数	139件/年	1000件/年	平成33年度
市民への太陽光発電システム機器設置費用の助成	177件 (平成19度からの累計)	2000件 (平成19度からの累計)	平成33年度

組みます



水と緑のネットワークづくりに向けて

水と緑の環境を守り、
つながる緑を活用します

■小平グリーンロードを南北に結ぶ新たなみどりの骨格として、あかしあ通りのグリーンロード化を図ります

重点施策

■樹林などの緑地を計画的に確保する研究を進めます

■水辺本来の姿に戻し、環境資源として活用するために用水路の保全・整備を行います

■季節の植物を楽しむオープンガーデンを推進し、ネットワークの緑を充実します

どこからでも見える
身近な緑を増やします

■小平市花いっぱい運動の会や市民ボランティアによる花いっぱい運動を推進します

重点施策

■既設の公園を対象に、公園のいきいきとした魅力を引き出すための身近な公園のリニューアル「公園いきいきリニューアル事業」を促進します

■補助制度の継続などにより身近な緑である生垣造成を促進します

■公共施設や学校などに、屋上緑化や緑のカーテンなどを積極的に導入します

生き物と生態系について
学ぶ機会をつくります

■市民参加による動植物の生態調査を実施します

重点施策

■生物多様性*についての情報提供や啓発を行います

つる性の植物を建物の壁面や塀などに植栽して緑のカーテンをつくれれば、夏の日差しを和らげるだけでなく、室温の上昇を抑えることもでき、エアコンの使用を20～30%省エネできます！



数値目標 2

項目	現状(平成22年度)	目標	目標年度
公園いきいきリニューアル	4公園	10公園	平成31年度
オープンガーデンの開設	21か所	30か所	平成33年度
生垣造成補助	12件 186m	継続して実施	

一人ひとりが

市民

事業

太陽光発電*や燃料電池*等新エネルギー利用を進めます

小平グリーンロードのみどりを大切にします

太陽光発電や燃料電池等事業所内において新エネルギー利用を進めます

日常の暮らしのなかで、省エネ行動を実践します

花いっぱい運動に参加します

節電を心がけ、エネルギー効率を考慮した省エネオフィスを実践します

市民版環境配慮指針を参考に、地球にやさしい暮らしを考え、実践します

緑のカーテンや生垣の造成を進めます

樹林などの維持管理や公園や道路等の環境整備にボランティアとして参加します

車を買換えるときは、低公害車、低燃費車を選びます

小平産の新鮮で安全な農産物を積極的に購入し、地産地消を推進します

市民参加型の公園づくりに参加します

外出時には、なるべく徒歩や自転車、公共交通機関を利用します

家を建てるときは、エネルギー効率を考慮した環境共生住宅*を選びます

自然観察会などのイベントに参加し、身近な自然について学びます

エコドライブを実行します

車を買換えるときは、低公害車、低燃費車を選びます

自然の中に生息する生き物や庭先に来る生き物の存在に目を向けます

地域の環境保全活動への参加や支援を行います

外出時には、なるべく徒歩や自転車、公共交通機関を利用します

用水路や池などに外来種*の魚を放流ないようにします

環境に関する情報に関心を持ち、環境保全の行動や活動に活かします

エコドライブを実行します

動植物の保全活動に参加します

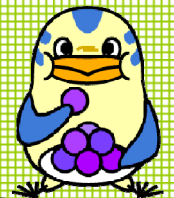
環境に関する講座や勉強会、イベントに積極的に参加します

環境情報の交換や共有を進め、活動のネットワークを広げます

環境保全のボランティア活動に参加します

環境に関する情報に関心を持ち、環境保全の行動や活動に生かします

緑と花を増やす「花いっぱい運動」に参加して、緑あふれる小平にしましょう。



市の公立小学校や学校給食センターでは、市内でとれた地場野菜等をできるだけ学校給食に使用するようにしています。これまで大根、ほうれん草、ブロッコリー、白菜、小松菜、きゅうり、うど、にんじん、たまねぎ、じゃがいも、えだまめ、トマトなどの地場野菜や小平梨などの特産物を学校給食に使用しています。

取り組み

者

小平グリーンロード*のみどりを大切にします

花いっぱい運動に参加します

事業所内の植栽や、ビオトープ*の造成などに取組みます

開発を行うときは、環境への影響を配慮し、必要な保護と回復措置を講じます

自然観察会の開催などに協力します

自然観察会などの自然保護活動に協力します

動植物の保全活動に参加します

民間団体

省エネルギー行動などの普及・啓発活動に協力します

環境学習活動等の企画・運営を行うとともに、市等が開催する環境学習に関する活動に協力・支援します

身近な緑の保全や創出に関して市民及び事業者への普及・啓発に努めます

花いっぱい運動に参加・協力します

動植物の生態調査に参加・協力・支援します

樹林や、身近な公園などの維持管理に参加・協力します

水辺環境の保全に向けた市民・事業者への意識の啓発に努めます

水辺の美化活動に積極的に参加・協力・支援します

自然観察会や自然を利用した遊びなどを通じて、生き物との共生についての啓発活動に努めます

エコドライブ10のすすめ

- ①ふんわりアクセル「eスタート」
- ②加減速の少ない運転
- ③早めのアクセルオフ
- ④エアコンの使用を控えめに
- ⑤アイドリングストップ
- ⑥暖気運転は適切に
- ⑦道路交通情報の活用
- ⑧タイヤの空気圧をこまめにチェック
- ⑨不要な荷物は積まずに走行
- ⑩渋滞を招く違法駐車はしない

家電製品の使い方を工夫することで電気や石油の使用量が減り、同時に家計の節約にもなります。

生活で使うエネルギーの無駄をなくすには、使用していない家電製品のプラグをコンセントから抜き待機時消費電力*を減らすことや、「設定温度」や「使用時間」などをこまめに管理することです。



個人の庭を一定期間、一般の人に公開するという活動（オープンガーデン）は、市では平成19年6月から開始し、平成22年11月現在、21箇所の登録があります。



花小金井小学校の屋上緑化(サツキ、ツツジ、ブルーベリー、タマリユウ)



オープンガーデン

